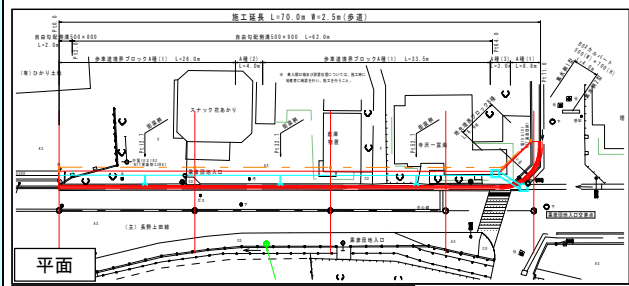
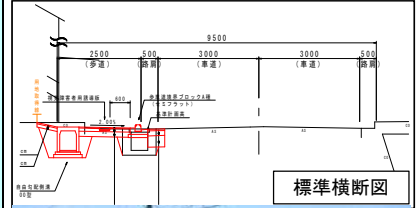




(様式2)新規評価シート

建設部 道路管理課

事業名		交通安全施設等整備事業		路河川名等	(主)長野上田線	
事業毎の通番		16	市町村名	千曲市	箇所名(ふりがな)	若宮黒彦(わかみやくろひこ)
事業概要	事業目的	主要地方道長野上田線は、長野市から千曲市、坂城町を経由して上田市に至る、幹線道路である。道路の南北にはすでに歩道が整備されており、本箇所が中抜け区間となっている。よって、この本箇所歩道を整備することによって、安心安全な道路環境を整備する。				
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	第5編 施策の総合的展開 第4章 4-2 県民生活の安全確保 第5章 5-2 快適で暮らしやすいまちづくり		事業実施の根拠法令等	社会資本整備重点計画法 交通安全施設等整備事業に関する法律	
	関連する事業、計画等	通学路緊急合同点検 千曲市総合計画後期基本計画				
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	更級小学校 通学生 他 現況自動車交通量 6,153台/日、現況自転車・歩行者交通量 58台・人/12h				
	着手年度	平成27年度	事業期間	2年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)
	完成年度(見込み)	平成28年度	費用対効果	—	国庫	その他 県債 一般財源
	全体事業内容(主な工種)	用地補償 一式 歩道設置工 L=70.0m W=2.5m		55,000	33,000	19,800 2,200
	年度事業内容(主な工種)	用地補償 一式		40,000	24,000	14,400 1,600
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	利用者の安全確保、特に通学児童の交通事故抑制が図られる			
		間接的効果(定量的・定性的)	通行車両の交通事故抑制			
評価の視点	必要性	○現況自動車交通量 : 6,153台/日 ○現況自転車歩行者交通量 : 58台・人/12h			評価	A
		○関連計画、重点施策との整合 : 2つ以上整合(通学路緊急合同点検、千曲市総合計画後期基本計画) ○緊急輸送道路の路線指定 : 県緊急輸送道路(2次)に指定			評価	A
	効率性	○事業期間 : 2年間(H27~H28)			評価	A
		○近年の事故発生件数 : H23年度2件 ○通学路対策 : 緊急合同点検を踏まえた対策箇所(千曲市立更級小学校) ○現況の歩道幅員 : 歩道なし			評価	A
	緊急性	○事業情報の共有 : 関係者を中心に周知(地権者、地元区長) ○地域の取り組み : 協力的である ○地域の合意形成 : 事業目的について合意形成が図られている。 ○住民との協働 : 住民関与は低い			評価	B
		○住民との協働 : 住民関与は低い			評価	B
部意見	当該区間の歩道は中抜けとなっており、安全な歩行空間確保のため、早期の歩道の整備が必要である。	行政改革課意見	長野市と上田市を結ぶ幹線道路であり、非常に交通量が多いことから、重要性が高く、必要性、緊急性が認められる。	評価結果	○ A	

事業概要説明図表

位置

4

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	主要地方道長野上田線は、長野市街地から千曲市、坂城町を経由して上田市街を結ぶ幹線道路である。該当箇所の南北にはすでに歩道が整備されており、中抜け区間となっている。更級小学校の通学路に指定されているが、児童と車の分離がされておらず、危険な状態である。そのため、歩道を整備し安心安全な歩行空間を確保する。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	平成24年度通学路緊急合同点検における要対策箇所。
③事業説明等の経緯	H25.8 地権者、区長に事業について説明 H25.12 千曲警察署に事業について説明 H26.1 千曲市に事業について説明 H26.2 更級小学校教頭に事業について説明 H26.4 県公安委員会と交差点協議
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	総合5カ年計画における早期着工目標対象箇所
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により安心安全な道路環境が整備されることによって、地域の活性化が期待される。
⑦その他	事業代表地点の緯度経度 北緯: N 36° 29' 28.17" 東経: E 138° 07' 53.07"